

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		オラレ志布志事業		担当課		港湾商工課		(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度									
				担当G	おもてなしグループ					活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	回	4	4	4	4	4									
(個別目標)	3	商工業が発展し続けるまち	主な費目	使用料及び賃借料					イ															
(施策)	2	商業の振興	対象	商工業者					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)									
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成21年度～ 年度 (年間)					ア	入場者数	人	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000						
(施策)	2	商工業賑わい創出プロジェクト								イ	オラレ売上額	円	750,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000						
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価															
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価															
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 														
	財源内訳	千円	13,789	375	1	14,076	14,000	14,000																
	国県支出金	千円																						
	その他特定財源	千円	0	13,462	13,816	0	0																	
	一般財源	千円	13,789	13,837	13,817	14,076	14,000	14,000																
	事業費計 (A)	千円	13,789	13,837	13,817	14,076	14,000	14,000																
人件費	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 															
所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025																	
人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	140	140																	
(A) + (B)	千円	13,929	13,977	13,957	14,216	14,140	14,140																	
(2) 事業概要																達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢・環境の変化 事業期間 							
事業目的	競艇場外発売場オラレ志布志を設置し、収入金の中から施設借上料を除く財源を基金に積み立て、地域振興に活かす。																							
事業内容	オラレ志布志の収入金の中から、事業による協力費として3%が市に振込まれ、(株)志布志まちづくり公社の施設借上料13,461,924円/年を除く収入をオラレまちづくり基金に積み立て、教育、商工振興などの財源に充てている。																							
開始経緯	「オラレ志布志」を設置し、年間家賃を得ることで、(株)志布志まちづくり公社の安定的な収入の確保につながる。また、オラレ入場者によるアピア各テナントの売上が期待されると同時に、オラレまちづくり基金を積立て、教育、商工振興などに充てることにより、各分野の振興が図られることを目的としている。																							
実施状況	株式会社志布志まちづくり公社の施設の一部を借上げ、競艇場外発売場オラレ志布志を設置し、収入金は施設借上料と市の活力あるまちづくりに資するためのオラレまちづくり基金に積み立てた。また、積立てた基金からは、防犯パルティとして新入学生防犯ブザーや反射タスキの購入費、商工業振興に係る創業補助金にも充てている。																							
成果	(1) 競艇場外発売場売上金 767,111,800円 (2) 競艇場外発売場オラレ収入金 23,013,354円 (売上金の3%) (3) オラレまちづくり基金積立金 9,606,711円 令和5年度末現在高 34,095,187円 (内訳) 収入金 9,551,430円、利子・配当金 55,281円 (4) (株)志布志まちづくり公社施設賃料 13,461,924円 (5) 教育振興及び防犯支援 369,000円																							
課題	競艇場外売上金は、当初の見込み額9億円に対して約85.2%の実績であり、前年と同水準を維持することができた。インターネット投票の割合が高い水準にある中で、場外発売場にかかっている足を運んでいただくか、また新たなファン(顧客)の獲得をどう図っていくのか検討が必要である。エネルギー・物価高騰の影響による来場機会の減少なども懸念される。							改革 改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了															
来場しやすい環境整備を行いながら顧客の信頼を得ること、啓発及びPR活動を続けることで、安心感と認知度の向上を図る。																								

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		観光施設改修事業		担当課		港湾商工課		(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			
				担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）		（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	
まちづくりプラン （基本目標）	振興計 3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち		予算科目	会計	款	項	目	備考	単位	（実績）	（実績）	（実績）					
（個別目標）	4	地域資源を生かした観光のまち		主な費目	需用費、工事請負費					ア 修繕箇所数	箇所	8	5	9	11			
（施策）	1	観光資源の整備、活用		対象	市民、観光客					イ 修繕金額	千円	7,372	22,268	16,734				
（基本目標）	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								成果指標（成果・効果）	単位	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）		
（施策）	6	環境にやさしいまちの推進プロジェクト		事業期間	年度～年度（ 年間）					ア 観光入込客数	人	600,000	900,000	900,000	900,000			
											453,437	490,048	577,789					
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価									
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価									
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 								
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円	10,326															
	一般財源	千円		33,309	39,632	41,095	33,309											
	事業費計 (A)	千円	10,326	33,309	39,632	41,095	33,309	0										
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050												
人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	0	0	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 									
(A) + (B)	千円	10,606	33,589	39,912	41,375	33,309	0											
(2) 事業概要										達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 							
事業目的	観光施設の整備について、経年劣化等により業務に供することができなくなった箇所を改修することにより、サービスの維持及び向上を図る。																	
事業内容	ダグリ岬遊園地、海水浴場及び蓬の郷施設の整備・修繕																	
開始経緯	観光客誘致及び市民が親しむ施設として欠かせない観光施設について、現在指定管理として管理・運営業務を委託しているが、施設運営上必要な部分については市が修繕等を行う必要があるため。																	
実施状況	蓬の郷オニヤンマサウナ取替修繕、ダグリ岬遊園地フェンス改修修繕、小西地区駐輪駐車場トイレブース修繕等、修繕16件 工事請負6件を実施した。									改革 改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了							
成果	修繕等を実施したことで、施設本体の維持が図られたとともに、利用者の利便性及びサービス向上に繋がった。										<ul style="list-style-type: none"> 大規模修繕にならないよう、指定管理者と情報を共有しながら日々の定期点検を実施し、早期発見による小規模修繕を行っていく。 							
課題	いずれの施設も老朽化が進んでおり、毎年修繕箇所が出てくる。修繕計画はあるものの突発的な緊急修繕が必要となるケースも多い。																	

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		蓬の郷（ふれあい交流センター以外の施設）指定管理委託事業		担当課		港湾商工課		(3) 指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度					
				担当G		おもてなしグループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)				
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画 体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	修繕件数	件	3 6	3 2	2 2	3 /	/	/		
（個別目標）	（施策）	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料（指定管理料）、修繕料					イ	イベント実施回数	回	0 0	2 2	2 2	2 /	2 /	/	/	
（基本目標）	（施策）	1	観光資源の整備、活用	対象	施設利用者（市民・観光客）					成果指標（成果・効果）	単位	ア	施設利用人数	人	6,600 7,506	6,600 8,362	6,600 9,685	6,600 /	/	/
				事業期間	平成25年度～ 年度（ 年間）					イ										
(1) 総事業費の推移		単位		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価										
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価										
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円								有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 									
	国県支出金	千円																		
	その他特定財源	千円		6,277	6,277	6,277														
	一般財源	千円	6,277																	
	事業費計 (A)	千円	6,277	6,277	6,277	6,277	0	0												
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025														
人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	0	0													
(A) + (B)	千円	6,417	6,417	6,417	6,417	0	0													
(2) 事業概要										効 率 性 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 									
事業目的	現在ある観光資源を生かし、市内外からの観光客誘致のため、蓬の郷ふれあい交流センター以外の施設となる親水公園やその周辺を委託し、魅力ある施設となるよう整備する。																			
事業内容	親水公園と周辺施設の整備、景観の維持を含めた管理運営業務を主に、「あじさい祭り」や「オータムフェスタ」等のイベントも開催し、本市の観光施設として賑わいを創出する。																			
開始経緯	平成25年度から親水公園周辺施設とふれあい交流センターの管理者を分け、より専門性の高い指定管理者に管理運営を委託することで、効果的かつ効率的な施設運営が図られ、施設の設置目的である地域活性化の観点からも市民が自然と触れ合える施設とする必要があったため。																			
実施状況	親水公園及び周辺施設を特定非営利活動法人志布志みどりのプロジェクトを指定管理者として管理委託し、日々の清掃管理を行い地域活性化を図っている。また、指定管理者の自主事業として花壇の整備や「オータムフェスタ」を行い、賑わい創出と景観の向上に尽力している。								達 成 度 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 										
成果	親水公園及び周辺施設は専門業者の特性を生かした景観整備を実施し、環境学習の場や癒しの場として市内外の利用者に広く活用されている。また、観光特産品協会と連携イベント等を実施したことにより施設の賑わい創出につながり、隣接する蓬の郷ふれあいセンターへの集客にも寄与した。																			
課題	近隣施設であるふれあい交流センター及び民宿村等との連携を図り、観光客や宿泊客が立ち寄りたくなるような施設とするため集客につながるイベント等の強化を検討する必要がある。																			
										改革 改 善 案	<ul style="list-style-type: none"> 幼児や福祉関係者などユニバーサルデザインに配慮した施設整備を図る。 蓬の郷周辺の関係者と密に連携し、より多くの集客を図る。 									
										拡 充	○	現 状 維 持	改 善	効 率 化	廃 止 終 了					

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		ダグリ公園指定管理委託事業		担当課	港湾商工課				(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度										
				担当G	おもてなしグループ				活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)										
				予算科目	会計	款	項	目	備考																	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	7	1	3		ア	利用料金収入額	千円	27,570 39,323	27,570 54,913	27,570 61,061	27,570										
(個別目標)	計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料(指定管理料)、修繕料				イ																	
(施策)	1	観光資源の整備、活用		対象	施設利用者(市民・観光客)				成果指標(成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)										
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成28年度～ 年度(年間)				ア	遊園地利用者数	人	31,000 42,617	31,000 44,442	31,000 45,686	31,000											
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト								イ																
(1)総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4)評価																	
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	所管課による評価																
	国県支出金	千円																								
	その他特定財源	千円		14,840	14,840	14,840																				
	一般財源	千円	14,840				14,840																			
	事業費計(A)	千円	14,840	14,840	14,840	14,840	14,840	0																		
	所要人員(年間)	人	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500																			
人件費概算(B)	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	0																			
(A)+(B)	千円	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640	0	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 																	
(2)事業概要																										
事業目的	ダグリ公園のうち遊園地及び海水浴場周辺を管理・運営することで、市民や観光客のレクリエーションの場として快適に利用することができ、本市観光振興及び地域活性化が図られる。																達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 								
事業内容	ダグリ公園のうち遊園地及び海水浴場周辺の管理・運営を指定管理者に委託する。																									
開始経緯	国定公園の範囲に属するダグリ岬公園のうち遊園地及び海水浴場周辺は、県内唯一の遊園地として、市の観光振興計画でも重点コンテンツとして、重要な観光拠点となっている。								改革 改善案	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 																
実施状況	(株)谷口製作所が指定管理者として令和3年度から5年間の管理期間で運営を行っている。																									
成果	令和5年度は、前年度に引き続きマイクロツーリズムのニーズの高まりにより、遊園地の利用客が増加し売上が向上した。県内からの教育旅行の受入れを積極的に行っていることで、前年比、計画対比においても黒字となっている。								拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了												
課題	老朽化する施設の年次的な改修を実施しているが、指定管理者所有の遊具についても、魅力向上のための改修及び新規導入を行っていく必要がある。								遊園地で現在実施しているような周辺の観光関連施設と連携イベントを開催することで通年での誘客が可能となることから、遊園地との相乗効果が期待できる。遊園地の利用客が利用しやすい施設整備を継続的に行う必要がある。																	

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		総合観光案内事業		担当課		港湾商工課		(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度									
				担当G	おもてなしグループ					活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興計 3	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	1	7	1	3											
(個別目標)	計画 4	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料					ア	観光ガイド人数	人	14 13	14 13	14 13	14								
(施策)	体系 3	3	「おもてなし」のまちづくり	対象	市民・観光客					イ	総合観光案内所訪問者数	人	14,000 10,438	14,000 6,315	14,000 13,866	14,000	14,000							
(基本目標)	総合 4	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	平成20 年度～ 年度 (年間)					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)								
(施策)	戦略 5	5	観光パワーアッププロジェクト							ア	宿泊者数	人	80,000 89,083	80,000 97,459	85,000 95,046	90,000								
										イ	観光入込客数	人	600,000 453,437	900,000 490,048	900,000 577,789	900,000								
(1) 総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4) 評価															
年間 事業 費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	所管課による評価 観光客の案内、おもてなしをする施設は他になく業務の必要性は高い。 また、本市を訪れる観光客全てに対応するため公平性も高いと考える。														
	国県支出金	千円																						
	その他特定財源	千円		4,181	4,530																			
	一般財源	千円	3,997			4,976																		
	事業費計 (A)	千円	3,997	4,181	4,530	4,976	0	0																
	所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100																		
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	0	0	効率性 評価	観光客の案内、おもてなしをする施設は他になく業務の必要性は高い。 また、本市を訪れる観光客全てに対応するため公平性も高いと考える。															
(A) + (B)	千円	4,557	4,741	5,090	5,536	0	0																	
(2) 事業概要																達成度 評価	所管課による評価 観光客の案内、おもてなしをする施設は他になく業務の必要性は高い。 また、本市を訪れる観光客全てに対応するため公平性も高いと考える。							
事業目的	本市を訪れるお客様に「再び訪れたいまち」と印象付けられるよう、市総合観光案内所の運営、観光ガイドの育成等を行う。																							
事業内容	観光客の案内や、情報収集、手荷物預かり、レンタサイクル対応など観光客の心に寄り添う窓口対応。 観光統計情報収集業務 観光ガイド育成によるツアーガイド																							
開始経緯	訪れた観光客へ懇切丁寧な観光案内と「おもてなし」をすることで、本市の魅力を伝え、再び訪れていただくとともに、おもてなしの玄関口となるJR志布志駅周辺において、ぽっぽマルシェを開催することで、周辺の賑わいを創出する必要があるため。※事業開始時にはぽっぽマルシェは本事業で開催。																							
実施状況	総合観光案内所の運営を志布志市観光特産品協会に委託し、まちかど案内所運営協力依頼・観光ガイド育成事業・レンタサイクル・観光統計情報収集を行っている。(総合観光案内所訪問者数：13,866人、レンタサイクル貸出件数：377件、志布志城郭販売実績：1,418枚等)																							
成果	観光案内所運営において、観光客に適切な観光情報やおもてなしを提供し、観光客のリピーター率向上に寄与。 日本遺産麓地区を案内する観光ガイドの育成強化によるツアーガイドの実施。								改革 改善 案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了														
課題	観光客のニーズに沿った観光案内が求められる。 後継者不足となっている観光ガイドの育成。									・コロナ禍後の観光客が増えつつある中、再訪していただくための観光PR (リピーター獲得) 等、引き続きおもてなし向上に努める必要がある。 ・観光ガイドの人材育成を図るため、ガイド組織の募集について市内へ周知する。														

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		イベント運営事業		担当課	港湾商工課					(3)指標の推移													
				担当G	おもてなしグループ					活動指標 (実施状況)		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度					
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア		イ		成果指標 (成果・効果)		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち		1	7	1	3		企画の数		個										
(個別目標)		振興計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち		主な費目					分野別スタッフ会議の回数		回	9	14	15							
(施策)		振興計画体系	1	観光資源の整備、活用		対象					観光入込客数		人	600,000	900,000	900,000	900,000						
(基本目標)		総合戦略				事業期間								453,437	490,048	577,789							
(施策)		総合戦略				年度～年度 (年間)																	
(1) 総事業費の推移				単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価												
					(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価												
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	千円								有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 											
		国県支出金	千円									<ul style="list-style-type: none"> 歴史や伝統あるもの、市民の癒しや賑わいづくりになるもの、地域活性化に繋がるもの等、目的は様々あるが、それぞれに市民からの開催要望は根強い。 本市観光振興計画においても重要な施策に位置付けられている。 現状で補助金の休止・廃止は祭りの継続が困難となる。 											
		その他特定財源	千円			19,513						<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 											
		一般財源	千円	300	13,681		19,693					景気や新型コロナウイルス感染症拡大の動向など社会的情勢により寄付金の回収が困難な場合もあり、財政的支援も必要である。 また、近年の警備要員人件費の向上もあり、経費削減はるか、増額の必要性も出てきている。											
		事業費計 (A)	千円	300	13,681	19,513	19,693	0	0			<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 											
		所要人員 (年間)	人	0.600	0.600	0.600	0.600					重要な観光資源として多くの入込客を誘客できている。上位目標である観光入込客数の増加に寄与する部分は大きい。今後コロナ禍での新しいイベントの形に対応した運営方法の検討も必要である。											
	人件費概算 (B)	千円	3,360	3,360	3,360	3,360	0	0		令和5年度：お釈迦まつり開催（4月29日） 志布志みなとまつり開催（10月23日） イルミネーション点灯式開催（12月3日）													
	(A) + (B)	千円	3,660	17,041	22,873	23,053	0	0		達成度評価													
(2) 事業概要																							
事業目的	特色あるイベントを通じて観光客を呼び込むとともに、市民が知恵を出し合って協力し合い、主体的に取り組む「市民総参加型」のイベントを実施することにより、地域活性化を推進する。																						
事業内容	本市3大まつり（お釈迦まつり、志布志みなとまつり、やっちく松山藩秋の陣まつり）を開催することで、伝統文化の維持や市内外住民の癒し、地域活性化を図る。																						
開始経緯	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化や賑わいづくり、市民の癒しの場の確保等。 本市のメインとなるイベントであり、市民も開催を待ち望んでいる。 																						
実施状況																							
成果	令和5年度については、お釈迦まつり（主催者発表3,000人）、志布志みなと祭（主催者発表40,000人）、やっちく松山藩秋の陣まつり（主催者発表3,000人）、志布志イルミネーション（主催者発表40,000人）																						
課題	まつりの実施方法を創意工夫することで、入込客の増を目指すと共に、市民の参画意識や参画機会の向上を図る必要がある。																						
改革改善案	実行委員会の高齢化や人員不足もあり、担い手となる地元高校生を含む体制見直しを実施する必要がある。体制見直しにより、新たな企画や地域への愛着も生まれ、地域の活性化のツールの一つになる。																						
		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了													

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		国民宿舎ボルベリアダグリ改修事業		担当課		(3)指標の推移					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度																			
				港湾商工課		活動指標 (実施状況)					(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																			
				担当G	おもてなしグループ					単位	(実績)	(実績)	(実績)																						
				予算科目	会計	款	項	目	備考																										
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	7	1	1	1		ア	施設宿泊者数	8,799	11,720	9,049																					
(個別目標)	計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	需用費					イ	温泉利用客数	79,958	85,806	87,736																					
(施策)	1	観光資源の整備、活用		対象	市民、観光客					成果指標 (成果・効果)																									
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																			
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間	平成30年度～ 年度 (年間)					ア	観光入込客数	600,000	900,000	900,000	900,000																				
										イ		453,437	490,048	577,789																					
(1) 総事業費の推移		単位	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価																										
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価																										
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 																									
	国県支出金	千円																																	
	その他特定財源	千円																																	
	一般財源	千円	16,887	25,253	20,144	54,125																													
	事業費計 (A)	千円	16,887	25,253	20,144	54,125	0	0																											
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050																													
人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	0	0	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 本市が指定管理を委託している当該施設は、本市の観光拠点でもあるダグリ岬に位置し、観光客を受け入れている施設として核となっている。修繕・改修等を行うことにより、運営を維持するほか、利用者のサービスの維持・向上を図る必要がある。 																										
(A) + (B)	千円	17,167	25,533	20,424	54,405	0	0																												
(2) 事業概要																	達成度 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 																	
事業目的	経年劣化により業務に供することができなくなった箇所や能力低下の部分の改修することにより、サービスの維持及び向上を図る。																									改革 改善案	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 								
事業内容	基本的には長期修繕計画に基づき、指定管理施設である国民宿舎ボルベリアダグリの修繕を行うが、緊急を要する修繕等についても、その修繕の可否を判断した上で、修繕を行う。																																		
開始経緯	平成12年にオープンした国民宿舎ボルベリアダグリは、施設整備後20年以上経過し、施設の老朽化から年々修繕箇所も増えてきている。長期修繕計画や指定管理者との協定書を基に、必要な部分については市が修繕を行うこととなっている。																																		
実施状況	防火シャッター、男女サウナ装置取替、非常用照明器具取替等24件の修繕を行った。																																		
成果	運営上必要な箇所について、適切に修繕を行い、サービスの維持及び向上に努めた。								<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了																										
課題	施設整備後20年以上経過していることもあり、施設の経年劣化から、年々修繕箇所も増えてきているとともに、突発的に発生する修繕等も出てきている。								劣化度調査を実施し、修繕計画を立案していく。																										

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		ダグリ岬公園周辺整備事業		担当課	港湾商工課					(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度																													
				担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																												
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)																																
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	7	1	3		ア																																				
(個別目標)	計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料、公有財産購入費					イ																																				
(施策)	1	観光資源の整備、活用		対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)																													
(基本目標)	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる							ア																																				
(施策)	5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間	年度～年度（ 年間）					イ																																				
(1) 総事業費の推移		単位		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価		所管課による評価																																		
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 																																			
年間	事業費	国県支出金	千円														<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 																													
ト	内訳	その他特定財源	千円		18,830	4,449																	<ul style="list-style-type: none"> 調査検討業務に関しては、国費100%の補助事業に申請予定であり、採択となれば費用の大幅削減が可能である。 施設設置に当たり民間企業の活用を前提とし、採算性の高い施設の検討を行うことは、将来的な費用削減に貢献する。 																							
タ	ル	一般財源	千円				3,564	0																					<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢、環境の変化 事業期間 																	
ル	コ	事業費計 (A)	千円	0	18,830	4,449	3,564	0	0																										<ul style="list-style-type: none"> ダグリ岬周辺に観光施設を整備することで、観光客の誘客に寄与し、本市の観光のシンボルとすることで、誘客増、認知度向上を図る。 											
ス	ス	所要人員 (年間)	人		0.200																																				<ul style="list-style-type: none"> 〇 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了 					
ト	ト	人件費概算 (B)	千円	0	1,120	0	0	0	0																																					
ス	ス	(A) + (B)	千円	0	19,950	4,449	3,564	0	0																																					
(2) 事業概要																																														
事業目的	第2次志布志市観光振興計画においても重要コンテンツとなっている「ダグリ岬」公園周辺を整備し、観光の拠点として活用する。																																													
事業内容	令和4年に購入した遊園地隣地の整備を行い、三角地開発の基礎とする。																																													
開始経緯	ダグリ岬公園周辺整備基本計画において、整備区域である土地の購入を進めること。また、購入した土地においてPFI方式での民間企業による施設整備の可能性の検討調査を行うことは、本市における観光拠点の整備として重要性が高い。また、海水浴場におけるトイレの景観の悪さから本市のイメージダウンに繋がることから、解体による景観整備を図ることは必須である。																																													
実施状況	H30年度 旧夏井壮解体工事 R2年度 ダグリ岬海水浴場景観整備伐採業務・ダグリ岬海水浴場転落防止柵等設置工事 R4年度 ダグリ岬周辺整備用地取得・測量設計実施 令和5年度ダグリ岬周辺整備用地伐採																																													
成果	樹木の伐採等を行い景観を整えることができた。																																													
課題	整備予定地のうち残り5筆955.45㎡が未取得である。用地取得に向け交渉を行う必要がある。																																													

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		物価高騰しづし版支援給付金事業(宿泊施設等)		担当課	港湾商工課			(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度						
				担当G	おもてなしグループ			活動指標(実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)						
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	交付実績	件	16	16							
(個別目標)	計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	負担金、補助及び交付金					イ											
(施策)	2	PR・誘客活動の推進		対象	宿泊施設等					成果指標(成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)					
(基本目標)	総合戦略			事業期間	年度～年度(年間)					ア	宿泊施設等数	施設	16	16	16						
(施策)											イ										
(1)総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4)評価												
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円		15,100					有効性 評価	所管課による評価 ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 ・市や議会に対し、商工業者等から支援を求める要望書も上がってきている。 ・宿泊施設以外を対象とした事業とも連携し、幅広く支援を行っている。											
	国県支出金	千円																			
	その他特定財源	千円																			
	一般財源	千円																			
	事業費計(A)	千円	0	15,100	0	0	0														
	所要人員(年間)	人		0.050																	
人件費概算(B)	千円	0	280	0	0	0															
(A) + (B)	千円	0	15,380	0	0	0		効率性 評価	・市内宿泊施設等に経営を存続してもらうためにも物価高騰対支援による財政負担は必須である。												
(2)事業概要																					
事業目的	物価高騰の影響により事業継続に支障をきたしている宿泊業者等に対し給付金事業を行うことで事業存続の支援を図る。							達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間 ・さらなる物価や燃料費高騰も見込まれる中、1店舗でも多くの事業者が経営を維持していただき、地域活性化を図る。												
事業内容	令和5年4月から同年6月までの売上実績等に応じ給付。 ア 収容人数が40人未満で売上50万円未満は一律12万5千円 イ 収容人数が40人未満で売上50万円以上は一律25万円 ウ 収容人数が40人以上で売上500万円未満は一律62万6千円 エ 収容人数が40人以上で売上500万円以上1,000万円未満は一律188万円 オ 収容人数が40人以上で売上1,000万円以上は一律376万円																				
開始経緯	物価高騰により特に事業の存続に大きく影響を受けている市内の宿泊施設に対し、給付金を給付することで、事業存続を図る必要がある。							改革 改善案	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状維持</td> <td>改善</td> <td>効率化</td> <td>○</td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>							拡充	現状維持	改善	効率化	○	廃止終了
拡充	現状維持	改善	効率化	○	廃止終了																
実施状況	【交付実績】合計 13件 17,918,000円 ア 2件 250,000円 イ 3件 750,000円 ウ 3件 1,878,000円 エ 2件 3,760,000円 オ 3件 11,280,000円																				
成果	市内16施設のうち、13施設に給付金を給付したことで、事業存続の一助となり、現在も営業を継続している。																				
課題	今後もコロナの状況や物価・燃料費の高騰等を注視し、必要に応じ、事業存続に向けた市の施策を実施する必要がある。							・状況の変化に応じ、事象にあった支援の在り方が必要となる。													

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		大隅広域観光開発推進会議		担当課		港湾商工課		(3) 指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度					
				担当G		おもてなしグループ		活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
				予算科目		会計	款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予	1	7	1	3			8	8	8							
(個別目標)	画体系	4	地域資源を生かした観光のまち	主	その他団体負担金						15	15								
(施策)	2	PR・誘客活動の推進		対	観光客						13	7								
(基本目標)	総合戦略			象	観光客						(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
(施策)				業	事業期間		年度～ 年度 (年間)				(実績)	(実績)	(実績)							
(1) 総事業費の推移		単位		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	(4) 評価										
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価										
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	千円							有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 					<ul style="list-style-type: none"> キャンプやサイクリングなど、密を避ける旅行のニーズが高まっている。 観光地が点在する大隅地域において、単独自治体での取り組みではなく、近隣自治体と連携した誘客を図るため、広域的な視点に立った事業を創出すべきである。 行政で組織する当会議と民間で組織するおおすみ観光未来会議やOhすみっこクラブ等との連携も図られている。 				
		国県支出金	千円																	
		その他特定財源	千円																	
		一般財源	千円	3,715	3,578	3,573	4,556													
		事業費計 (A)	千円	3,715	3,578	3,573	4,556	0	0											
	人件費	所要人員 (年間)	人							効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 					<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において観光入込客の激減した大隅地域への入込客の増を図る様々な施策を展開する必要があるため、より効果的・効率的な事業を実施することは当然とした上で、事業費の削減は難しい。 特におおすみ観光未来会議とは密に連携しており、誘客事業を実施している。 				
	(A) + (B)	千円	3,715	3,578	3,573	4,556	0	0												
	人件費概算 (B)	千円	0	0	0	0	0	0												
(2) 事業概要																				
事業目的	大隅広域観光開発推進会議は、大隅地域のけん引役として大隅地域のブランド化を図り、戦略に基づく一貫したプロモーションを展開し地域資源を活用した地域の「稼ぐ力」を創出し、将来的には集客・消費拡大による地域産業の振興、雇用創出、定住促進を目指しながら大隅らしい観光地域づくりに取り組む。																			
事業内容	①副官長、課長会、担当者会の開催 ②大隅広域観光推進業務 ③薩摩半島、大隅半島を繋ぐ周遊観光促進事業 ④大隅半島団体旅行誘致促進事業 ⑤大隅半島サイクリング観光促進事業 ⑥大隅半島観光情報発信事業 ⑦ドライブ観光促進事業 ⑧大隅PR推進事業 ⑨観光かごしま大キャンペーン推進協議会への参画																			
開始経緯	本市は、さんふらわあやJR志布志駅を活用した大隅半島への玄関口であるが、大隅半島の魅力ある観光スポットは大隅半島全域に点在していることから、本市単独の観光振興策だけでなく広域的な観光振興の視点を持って本市の観光入込客増対策や観光特産品振興を推進することが必要である。																			
実施状況	①課長会 (3回)、担当者会 (7回) ②ドライブスタンプラリーの開催 (いぶすき広域観光推進協議会との連携) イベント期間 8月～10月 ③大隅半島団体旅行誘致促進事業 申請19件 交付16件																			
成果	関係市町の観光特産品素材の活用状況やPR手法を課長会や担当者会を通じて共有することで、大隅広域観光開発推進会議の強みを生かした観光誘客が可能となっている。																			
課題	本市への観光誘客については成果がでていないもの、目標とする大隅地域4市5町全域への送客や誘客までは至っていない現状がある。これが実現した場合、本市にはより一層の誘客が見込まれるため、官民一体となった更なる観光地域づくりが必要である。																			
				拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了								
				<ul style="list-style-type: none"> SNS等を活用した効果的な情報発信を充実させる必要がある。 																

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		担当課		港湾商工課		(3) 指標の推移												
						活動指標 (実施状況)		単位	3年度 (目標) (実績)	4年度 (目標) (実績)	5年度 (目標) (実績)	6年度 (目標) (実績)	7年度 (目標) (実績)	8年度 (目標) (実績)				
ダグリ岬海水浴場周辺海岸漂着物処理委託事業		担当G		おもてなしグループ														
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち		予算科目	会計	款	項	目	備考							
(個別目標)		振興計画	4	地域資源を生かした観光のまち		1		7		1 3								
(施策)		振興計画	1	観光資源の整備、活用		主な費目		委託料		対象		市民、観光客						
(基本目標)		総合戦略				事業期間		年度～ 年度 (年間)		成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
(施策)		総合戦略								ア		回	26	26	26	26		
										イ								
										ア								
										イ								
(1) 総事業費の推移		単位		3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円	1,388	1,552	0	1,388				有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 ダグリ公園周辺は市の観光振興計画でも重点エリアとして位置付けており、特に海水浴場及び遊園地は、総合的な観光レクリエーション施設として、今後も集中的に整備活用し、観光振興及び地域活性化を図る。							
	国県支出金	千円	1,388	1,552	0	1,388												
	その他特定財源	千円	348	538														
	一般財源	千円			0	347												
	事業費計 (A)	千円	1,736	2,090	0	1,735	0	0										
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025	0.025												
人件費概算 (B)	千円	140	140	140	140	0	0											
(A) + (B)	千円	1,876	2,230	140	1,875	0	0											
(2) 事業概要													効率性 評価 達成度 評価 改革 改善案					
事業目的	ダグリ岬海水浴場周辺に漂着する海洋ごみ等の回収・処分を委託することにより年間を通じた景観維持を図り、市内外から訪れる利用者に気持ち良く利用してもらい、観光拠点としての魅力向上及び地域経済活性化を図る。																	
事業内容	ダグリ岬海水浴場周辺に漂着する海洋ごみ等の回収・処分を委託する。																	
開始経緯	国定公園の範囲内に属するダグリ岬公園のうち海水浴場周辺は、市の観光振興計画でも重点エリアとして重要な観光拠点となっている。																	
実施状況	通年管理分 春季 (4月～6月) 0回/月 夏季 (7月～9月) 0回/月 秋・冬季 (12月～1月) 13回/月																	
成果	環境保護を目的とする市内団体等が、ダグリ岬海水浴場周辺のボランティア清掃活動を行っていただいたことにより、費用をかけず景観を維持することができた。																	
課題																		
		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了								

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日作成

事務事業名		蓬の郷（ふれあい交流センター）指定管理委託事業		担当課	港湾商工課					(3)指標の推移		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度												
				担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)												
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画 体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	年間利用者数	人	200,000 153,456	200,000 148,651	200,000 167,794	20,000													
（個別目標）	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料					イ																				
（施策）	1	観光資源の整備、活用	対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)													
（基本目標）	総合戦略		事業期間	年度～ 年度（ 年～ 年間）					ア	観光入込客数	人	600,000 453,437	900,000 490,048	900,000 577,789	900,000														
（施策）										イ																			
(1) 総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4) 評価																				
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							有効性 評価	所管課による評価																			
	国県支出金	千円																											
	その他特定財源	千円																											
	一般財源	千円	7,757	12,244	0	0	0	0																					
	事業費計 (A)	千円	7,757	12,244	0	0	0	0																					
	所要人員 (年間)	人		0.025																									
人件費	千円	0	140	0	0	0	0	効率性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性																				
人件費概算 (B)	千円																												
(A) + (B)	千円	7,757	12,384	0	0	0	0																						
(2) 事業概要																		達成度 評価	・子供たちの自然観察学習の場、市民や観光客の癒しの場として親しまれており、観光振興からも重要な施設となっている。 ・事業を廃止することで、市民のふれあいの場がなくなり、地域活性化が図られなくなる。										
事業目的	市民のふれあい交流の促進、地域間交流の促進、健康ライフの増進、青少年の自然観察学習の促進及び地域の活性化を図る。																												
事業内容	蓬の郷（ふれあい交流センター）を中心としたお風呂や地元特産品を味わうことができるレストランと宴会場の運営、地元特産品を販売する魅力的な売り場づくりを通じて、市内外からの利用客が集う施設として営業を行う。																												
開始経緯	平成25年度から親水公園周辺施設とふれあい交流センターの管理者を分け、より専門性の高い指定管理者に管理運営を委託することで、効果的かつ効率的な施設運営が図られ、施設の設置目的である地域活性化の観点からも市民が自然と触れ合える施設とする必要があったため。																												
実施状況	年間施設利用者 167,794人（平成30年度対比 221,044人 75.9%） (1)風呂利用者：119,895人（平成30年度対比 151,630人 79.1%） (2)レストラン利用者：31,666人（平成30年度対比 47,621人 66.5%） (3)宴会利用者：16,193人（平成30年度対比 21,793人 74.3%）																												
成果	コロナ禍において減少した利用客は回復傾向にあるものの未だに24%減となっている。核となる風呂営業については、燃料費の高騰により経費が増大し厳しい経営状況であったが、令和6年1月に実施した料金改定により収支の改善がみられている。																												
課題	物価・燃料費の高騰については料金改定により収支の改善がみられたが、人件費の増加が赤字の主な原因となっている。施設安定運営のためには新たな利用客の獲得が不可避であるため、周辺施設と連携した集客対策について検討していく必要がある。								改革 改善案	・周辺施設と連携した集客イベントの実施を検討する。																			
	拡充		現状維持		○ 改善		効率化			廃止終了																			

令和 6 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 6 年 7 月 1 日 作成

事務事業名		蓬の郷（ふれあい交流センター）指定管理委託事業		担当課		(3) 指標の推移												
				港湾商工課		活動指標（実施状況）		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度					
				担当G	おもてなしグループ		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)					
				会計	款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)							
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画 体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	7	1	3		ア	年間利用者数	人	200,000 153,456	200,000 148,651	200,000	20,000		
（個別目標）	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料						イ								
（施策）	1	観光資源の整備、活用	対象	市民、観光客							成果指標（成果・効果）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
（基本目標）	総合戦略		事業期間	年度～ 年度（ 年間）							ア	観光入込客数	人	600,000 453,437	900,000 490,048	900,000 577,789	900,000	
（施策）											イ							
(1) 総事業費の推移		単位	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	(4) 評価									
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円							所管課による評価 有効性評価 ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 ・子供たちの自然観察学習の場、市民や観光客の癒しの場として親しまれており、観光振興からも重要な施設となっている。 ・事業を廃止することで、市民のふれあいの場がなくなり、地域活性化が図られなくなる。 効率性評価 ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携 達成度評価 ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間 改革改善案 ・健全で安定した経営を維持するために、近隣同施設の状況を把握しながら、入浴料等の料金設定を協議していく必要がある。									
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	7,757	12,244	0	0	0											
	事業費計 (A)	千円	7,757	12,244	0	0	0											
	所要人員 (年間)	人		0.025														
人件費概算 (B)	千円	0	140	0	0	0												
(A) + (B)	千円	7,757	12,384	0	0	0												
(2) 事業概要																		
事業目的	市民のふれあい交流の促進、地域間交流の促進、健康ライフの増進、青少年の自然観察学習の促進及び地域の活性化を図る。																	
事業内容	蓬の郷（ふれあい交流センター）を中心としたお風呂や地元特産品を味わうことができるレストランと宴会場の運営、地元特産品を販売する魅力的な売り場づくりを通じて、市内外からの利用客が集う施設として営業を行う。																	
開始経緯	平成25年度から親水公園周辺施設とふれあい交流センターの管理者を分け、より専門性の高い指定管理者に管理運営を委託することで、効果的かつ効率的な施設運営が図られ、施設の設置目的である地域活性化の観点からも市民が自然と触れ合える施設とする必要があったため。																	
実施状況	年間施設利用者 148,651人（平成30年度対比 221,044人 67.2%） (1)風呂利用者：117,037人（平成30年度対比 151,630人 77.2%） (2)レストラン利用者：21,723人（平成30年度対比 47,621人 45.6%） (3)宴会利用者：9,891人（平成30年度対比 21,793人 45.3%）																	
成果	コロナ禍において減少した利用客を呼び戻すため、イベント企画を計画するなど対策を講じる予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされた。しかしながら、夏そばや鰻など、地域特産品を活用したメニュー開発や地道なPR活動に取り組んだが、コロナ前と比較するとまだまだ厳しい状況にある。									拡充 現状維持 ○ 改善 効率化 廃止終了								
課題	コロナに加え、物価・燃料費の高騰も懸念され、事業存続に向け、指定管理料等による市の支援も必要になるのではないかと予測される。																	